## ◆ 放送文化賞受賞者（第67回・2015年度）

2016年３月18日，放送記念日記念式典で贈呈

日本放送協会放送文化賞は，1949年度に創設。放送事業の発展に寄与し，放送文化の向上に特段の功績があったと認められる方々に対して贈呈しており，今回の６人を合わせ，これまでに437人が受賞。（これまでの受賞者一覧⇒p.746）

### 尾上（おのえ）　菊五郎（きくごろう）

歌舞伎俳優（重要無形文化財保持者･文化功労者）

歌舞伎界の重鎮として長年にわたり数々の至芸を披露するとともに，日本俳優協会理事長として後継者の育成にも尽力。2015年度の文化功労者として表彰された。歌舞伎中継や古典芸能番組において伝統芸能の魅力，奥深さを伝達。また，1966年放送の『大河ドラマ』「源義経」や『NHK紅白歌合戦』『スタジオパークからこんにちは』など多様な分野の番組にも出演するなど，テレビの成長期から今日まで幅広く放送文化の向上に貢献してきた。

### 髙畑（たかはた）　文雄（ふみお）　早稲田大学理工学術院教授

デジタル放送の基盤となる無線伝送技術の研究や携帯電話の国際標準化を長年にわたって先導。地上デジタル放送に使われるOFDM技術の研究によって，地上デジタル放送のネットワーク構築に多大な貢献をしてきた。また，NHK放送技術研究所の放送技術研究委員会委員や研究アドバイザーを務め，2015年にはNHK放送技術審議会委員長に就任するなど，新時代を迎える放送技術の発展に寄与している。

### 竹内（たけうち）　誠（まこと）　東京都江戸東京博物館館長

近世都市史の研究者として，『大河ドラマ』「元禄繚乱」や『金曜時代劇』など数多くの時代劇で時代考証を担当。江戸時代の息づかいを伝えるドラマ作りに大きく貢献してきた。『探検バクモン』『視点・論点』『にっぽんの芸能』といった幅広い番組でも，多様な文化が花開いた時代の魅力を分かりやすく発信。東京都江戸東京博物館では14回にわたって「大河ドラマ特別展」を開催するなど，放送番組と視聴者のつながりを深めてきた。

### 津川（つがわ）　雅彦（まさひこ）　俳優

『連続テレビ小説』「うず潮」や「おはなはん」「澪（みお）つくし」，『大河ドラマ』「竜馬がゆく」，「黄金の日日」「葵　徳川三代」「功名が辻」など，半世紀以上にわたり300作を超えるテレビドラマに出演。強い個性に裏打ちされた格調高く，時にユーモラスな演技で数多くの視聴者に感動を与えてきた。2014年には　旭日小綬章を受章。近年では『BS時代劇』「大岡越前３」に出演するなど，芸歴60年を数えてなお，第一線で活躍している。

### ヘルベルト・ブロムシュテット

NHK交響楽団名誉指揮者

30年以上にわたりNHK交響楽団を指揮し，緻密な指導によって楽団の芸術性を高めてきた。『N響アワー』『クラシック音楽館』など数多くのテレビやラジオの番組を通じてクラシック音楽の魅力を伝えるとともに，ドキュメンタリー番組の制作やインタビューにも積極的に協力。2014年には８K技術によるNHK交響楽団の初収録で指揮台に立ち，演奏家の立場から高精細度撮影に関する提言をおこなうなど，幅広く放送文化の発展に貢献してきた。

### 由紀（ゆき）　さおり　歌手

1969年のヒット曲「夜明けのスキャット」でデビューして以来，『NHK紅白歌合戦』には23回出場するなど歌謡界の第一線で活躍してきた。2011年には海外のアーティストと共にアメリカやイギリスでも公演するなど歌謡曲の魅力を幅広く伝え，翌年，紫綬褒章を受章。また，心の機微を捉えた演技で『連続テレビ小説』「ファイト」や『コメディー　お江戸でござる』など幅広い分野の番組にも出演。多彩な才能で放送文化の発展に貢献してきた。